

会長挨拶

全日本中学校長会会長 三田村 裕



本日、第七二回全日本中学校長会総会の開催にあたり、全日本中学校長会第四二代会長山本誠志様、東京都中学校長会前会長花田茂様のご臨席を賜りましたことに、心から厚く御礼申し上げます。

さて、全国の会員の皆様、新年度が始まってから早二か月が経とうとしております。全日中は、この総会をもって令和三年度の諸活動が実質的に始まりません。今年度から新に会員になられた皆様もいらっしやると思います。皆様を歓迎いたしますとともに、是非、全国の中学校教育の充実・発展に向けて、お力添えをよろしくお願いいたします。

さて、私が会長に就任してから一年が経ちました。新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大という状況下における一年間であり、異例づくめの任期中でした。そんな中、生徒の学びはもちろん、私たち校長の学びも、そして全日中の活動も決して止めることなく進めてこられました。全国の会員の皆様、そして各地区、各都道府県校長会や事務局の皆様、関係各機関の皆様との多大なる御尽力のおかげと思っております。心よりお礼を申し上げます。

昨年、第七一回総会の席上、全日中が当面取り組むべきこととして、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた学びの保障、「全日中新教育ビジョン」の推進、全国各都道府県中学校長会相互の緊密な協調のより一層の推進といった三点を述べさせていただきました。

まず一点目の学びの保障につきましては、長期休業の短縮、土曜授業実施日の拡大、行事の精選、時間割の弾力化等様々な工夫により、一部次学年に内容を繰り越した学校もありましたが、ほとんどの中学校で令和二年度の内容を終えることができました。ひとえに各中学校の創意と努力の結果ですが、全日本中学校長会といたしまして、

様々な場で文部科学省をはじめとする行政機関に中学校現場の状況を伝えてまいりました。

二点目の「全日中新教育ビジョン」の推進につきましては、五月の総会後追記した第四章「新会員の皆様へ」を七月の臨時常任理事会において承認していただき、完成を見たところです。新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、昨年度は各地区の校長研究大会も和歌山県和歌山市で開催する予定だった全国研究協議会も、全てが大会誌上での発表という厳しい状況ではありましたが、関係者の皆様の御尽力により意義ある研究の成果が発表され、新教育ビジョンの理念と併せ、今後の進むべき道がより明確になりました。今後は、喫緊の課題である新学習指導要領の円滑実施と学校における働き方改革の推進についても網羅している「全日中新教育ビジョン」を全国津々浦々の学校で活用していただけるよう、その普及啓発に努めてまいります。

三点目の全国都道府県中学校長会相互の緊密な協調のより一層の推進につきましては、第七一回総会をはじめ、常任理事会や理事会をオンラインにより実施したことで、会務運営を一切止めずに行うことができました。また、副校長連絡会を創設し、会長と各地区の代表である副会長が五回のオンライン会議で意見交換するとともに、必要に応じメーリングリストを活用して、新型コロナウイルス感染症に関する対応や、中央教育審議会における審議事項、部活動改革に関することについて、情報共有や意見交換を行い、その結果確認された方向性等を全日中の意見として文部科学省やスポーツ庁のヒアリング、また中央教育審議会における審議において述べるなど、実に有意義なものとなりました。また、会長として各地区を訪問し、各地区の課題を把握しました。

昨年度は中央教育審議会「令和の日本型学校教育」の中間まとめが発表されるとともに、同審議会教員養成部会においては、教員免許更新制に関する検討が開始されることになりました。これからの教育の新たな方策の検討が既に始まっています。こうした国の方向性や時代状況を踏まえ、私たち全日中は、「実践もあり理論もある有言実行の教育の実践的専門家集団」としての役割を引き続き、強力に果たしてまいりたいと思いますので、全国の会員の皆様、どうかよろしくお願いいたします。

結びに、これまでの全日本中学校長会の活動に御理解・御協力をいただきました全日中役員の皆様をはじめ全国の皆様、全日中に対して全面的な御支援をいただいております文部科学省の皆様、関係団体の皆様、そして全日中OBの皆様に変更して感謝を申し上げますとともに、中学校教育のより一層の充実・発展に向け、会員の皆様御一人御一人のますますの御活躍を記念して開会の挨拶といたします。